

# 機器連携アプリでDXを実現させる

01 機器連携アプリとは？

02 機器連携アプリのよくある機能

03 機器連携アプリのおすすめ業種

04 機器連携に関するこんな悩みありませんか？

05 機器連携アプリなら解決できます

06 機器連携アプリの4つの効果

07 DX化を目指す企業が直面する7つの経営課題

08 はっかぜの実施する課題解決のアプローチ

09 はっかぜが出来る5つのこと

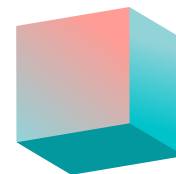
10 はっかぜがもたらす5つの結果

11 アプリ開発の手順

12 機器連携アプリの開発費用

13 機器連携アプリの開発期間

14 はっかぜへのお問い合わせはこちら

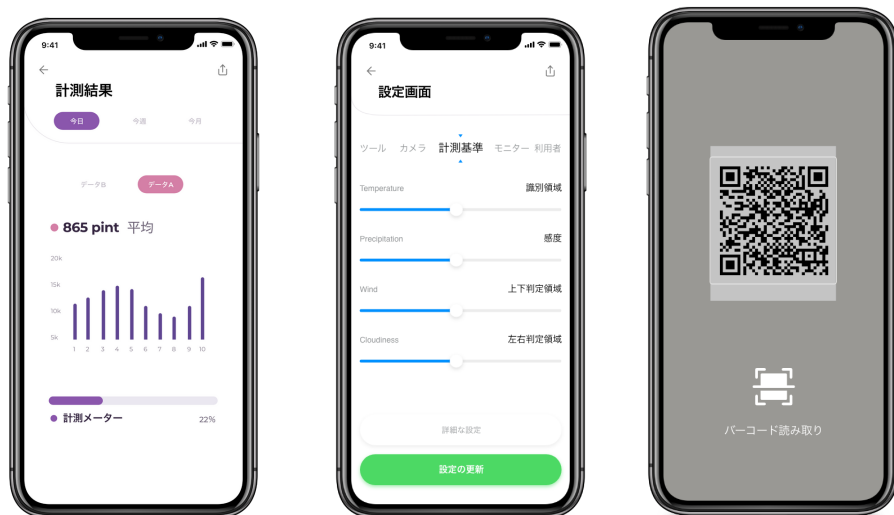


# 機器連携アプリって どんなアプリ？

IoTやDXの流れで、世の中の機器は次々にインターネットに接続し、アプリと連携するようになりました。これからの時代は、今まで独立していた機器がアプリやインターネットと連携するようになるでしょう。

## 01 機器連携アプリとは？

世の中にある様々な課題を解決するために、カメラやセンサー、計測などの機能を持つ機器と情報の連携が可能なアプリです。  
今まで解決できなかった課題の解決をお約束します。



## 02 機器連携アプリのよくある機能

- センサー機能
- データ計測
- 他システムとの連携
- QR/バーコード読み取り

## 03 機器連携アプリのおすすめ業種

- 自動車
- 家具
- 家電
- 建築
- 園芸
- 雑貨
- 農業
- 介護

# 機器連携に関する 「悩み」と「解決方法」

機器とアプリの連携は、普通のアプリ開発と違い、複雑で高度な技術を使う場合が多いです。高い技術力によって支えられる機器連携アプリは、開発できる会社が少ない傾向にあります。

## 04 機器連携に関する こんな悩みありませんか？

- 01 IoT機器と連携したビジネス支援ツールを導入したい
- 02 アナログに検査している作業をIoTを取り入れて自動化したい
- 03 既存の業務を見直して、業務の効率化とコスト削減を図りたい
- 04 日照センサーなどを利用してアグリテックを進めたい
- 05 消耗品の交換時期がわかるセンサーを作りたい

## 05 機器連携アプリなら 解決できます

- 01 IoT機器とアプリによりデータの取集と管理、分析を行い、多様なビジネスを支援します
- 02 様々なIoT機器を利用し、アプリと連動させることで自動化を実現します。
- 03 ワークフローシステムの利用で、デジタル上で全ての作業が完結できます
- 04 野外で使用可能なセンサー機器をIoT化することで一次産業の改革を行います
- 05 センサーの情報をアプリに送信し、アプリで情報管理することができます



# 機器連携アプリで 何が手に入るのか？

機器とアプリの連携によって、今までにない新しい価値を作り出すことができます。より便利により簡単にするためにはアプリの活用が非常に有効で、数多くの企業が機器とアプリの連携に力を注いでいます。

## 06 機器連携アプリの4つの効果

**利用者数の向上**  
アプリを積極的に利用することで  
利用のハードルが下がるため  
新規ユーザーの獲得が見込めます

**価値の創造**  
スマホを活用することで  
IoT化やDX化といった新しい  
価値を創造することができます

**利便性の向上**  
ネット接続、機器の連携など  
今までできなかったことを  
実現することができます

**操作性の向上**  
アプリは感覚的に操作しやすい  
という特徴があり、  
操作性や使用感が向上します



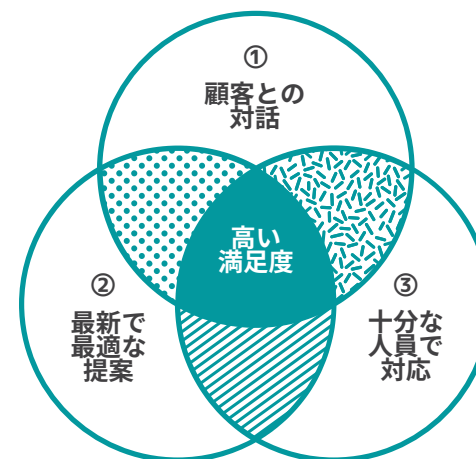
# よくあるアプリ開発の「課題」と「解決策」

戦略的にシステムやIT人材を投資してこなかった企業にはいくつかの課題が待ち受けています。それらの課題に対するはつかけ流のアプローチについてご紹介します。

## 07 DX化を目指す企業が直面する7つの経営課題

- 01 「人手不足でデジタルの担当者を用意できない」
- 02 「データ活用を目指しているが具体的な方法がわからない」
- 03 「パッケージ型のアプリでは業務に対応できない」
- 04 「顧客との接点が実店舗にしかなくデジタル上での接点がない」
- 05 「ペーパーレスや脱ハンコが遅れており生産性の低さが問題になっている」
- 06 「既存の古いシステムが足枷となって他のシステムが導入できない」
- 07 「デジタルに関する情報が不足しており経営戦略や方針が決められない」

## 08 はつかけの実施する課題解決のアプローチ



- 01 企画段階から開発者が参加し、顧客との対話を重ねて、課題解決に向けた明確な方針を打ち出します。
- 02 幅広い業種業態のアプリ・システム開発を行ってきたノウハウと技術を活かし最適な提案を行います。
- 03 海外にある複数社のパートナー企業と協力して、技術者の作業単価を減らすとともに十分な人員でアプリ開発を行います。

# はつかぜの 「出来ること」と「結果」

はつかぜでは、顧客の立場に寄り添い「成果が出る」を第一に考えてアプリ開発に取り組んでいます。どんな業種、業態にも対応可能なオーダーメイドで成果重視のアプリ開発がはつかぜの特徴です。

## 09 はつかぜが出来る 5つのこと

- 01 豊富な機能から効果があるものを選び出し、最新で最適な機能を提案して実装いたします。
- 02 保守や改修を前提として状況変化に対応しやすいアプリ開発を行います。
- 03 古いシステムの顧客・商品データ等を最新アプリに移行して、継続したサービス利用を可能にします。
- 04 アプリ利用者の行動データ等を蓄積して分析することができる仕組みを導入します。
- 05 社内状況や事業内容、求めるアプリなどを丁寧にヒアリングして現状分析を行い、現状にマッチするアプリ開発を行います。

## 10 はつかぜがもたらす 5つの結果

- 01 選び抜かれた最適な機能により初期費用を抑え、選び抜かれた最新の機能によりユーザーに新たな顧客体験を与えます。
- 02 技術的負債を取り除き、保守や改修による継続的なシステム維持費を抑えます。
- 03 旧データを移行した継続的なサービスにより利便性が高く、今まで通り使えるアプリを実現します。
- 04 データを活用した合理的な意思決定が可能になることで、スピード感のある経営をサポートします。
- 05 業務効率化や働き方改革、ペーパーレス化、脱はんこを実現させ、生産性や効率を高めます。



# 機器連携アプリの 「開発手順」と「情報」

はつかぜでは、顧客満足度の高いアプリ開発を目指しています。  
業務的な外注ではなく、1つのチームとしてプロジェクトを進めて  
成果が出るアプリの導入を実現します。

## 11 アプリ開発の手順

### ①ヒアリング

顧客が抱えている問題や課題をお伺いし、開発したいアプリのイメージを掴んでいきます

### ②提案

課題解決に向けて最適な技術や手法を提案します

### ③要件定義

顧客が求めている要件を整理して、実現するために必要な機能・性能といったシステムの仕様を明確に決めます

### ④打ち合わせ

画面レイアウトや機能一覧などをもとに最終的な調整を行います

### ⑤基本設計

要件定義を基に、システムの基本となる設計を行います。操作方法・操作画面・出力方法など

### ⑥詳細設計

基本設計を基に、システム内部の詳細な設計を行います。機能・動作・構造など

### ⑦実装

アプリ開発を行います

### ⑧導入

アプリをAppStoreやGooglePlayに公開する手続きを行います

## 12 機器連携アプリ開発の費用

### 初期費用

500~1000万円ほど

### 保守費用/月

15~30万円ほど

上記の金額は、当社の実績から算出した平均的な開発費用です。

開発するアプリによって、費用は変動します。  
また、上記の費用に加えてサーバー費用が発生するケースも存在します。

## 13 機器連携アプリ開発の期間

3~6ヶ月ほど

アプリの種類によって、開発期間は異なります。

# はつかぜへの お問い合わせ

最後までお読みいただきありがとうございました。  
はつかぜでは、様々な業種、業態のアプリ開発の実績があります。  
アプリ開発のご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

## 14 はつかぜへの お問い合わせはこちら

### 会社名

はつかぜ株式会社

### 住所

大阪府中央区城見2-1-61  
ツイン21MIDタワー37F

### 電話番号

06-6940-2866

### FAX

06-6940-2867

### 問合せページ

<https://www.hatsukaze.co.jp/inquire/>

問い合わせページ  
(QRコード読込)

